

自己点検・評価報告書

動物実験に関する自己点検・評価報告書

岩手医科大学

令和4年6月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 岩手医科大学動物実験規程（平成19年4月1日施行、令和2年11月1日一部改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文科省の基本指針を骨格とし、日本学術会議ガイドラインを参考にして作成された国動協の機関内規程ひな形に基づいて作成されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点はない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 岩手医科大学動物実験規程（平成19年4月1日施行、令和2年11月1日一部改正） 岩手医科大学動物実験委員会規程（平成3年10月16日施行、令和2年11月1日一部改正） 岩手医科大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 学長の下に置かれた全学委員会であり、文科省の基本指針、日本学術会議のガイドラインに沿ったものである。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点はない。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 岩手医科大学動物実験規程（平成 19 年 4 月 1 日施行、令和 2 年 11 月 1 日一部改正）、岩手医科大学動物実験計画書・動物実験計画（変更・追加）承認申請書、動物実験計画結果（経過・最終）報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針、ガイドラインに沿ったものである。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点はない。

#### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 岩手医科大学組換え DNA 実験安全管理規則（平成 22 年 11 月 2 日施行） 岩手医科大学動物研究センター感染動物実験室利用内規（平成 27 年 6 月 9 日施行） 岩手医科大学動物研究センター利用内規（平成 17 年 6 月 1 日施行、平成 26 年 6 月 17 日一部改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 組換え DNA 実験安全管理規則は現行法に準じた内容となっており、学長直轄の全学的委員会として機能している。また、1 名が動物実験委員会と組換え DNA 実験安全委員会の委員を兼務している。本学にはバイオセーフティーに係る組織がないため、専門家に意見を聞き、感染動物実験室利用内規並びに感染動物実験室利用マニュアルを策定し正式運用している。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点はない。

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 岩手医科大学動物研究センター規程、飼養保管施設設置承認申請書、飼養保管施設設置承認書、飼養保管施設設置承認一覧
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 令和3年度は飼養保管施設の申請は無かった。動物実験が実施されるすべての場所は、学長の下で掌握されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点はない。

## 6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

実験動物の発注は動物研究センター事務室と法人事務部用度課が連携して、承認された動物実験計画内の発注であることを常に確認している。 動物研究センターにおける実験動物の飼養管理は、実験動物技術指導員(1名)、実験動物技術準指導員(1名)、実験動物技術者一級(2名)、実験動物技術者二級(3名)の認定(公益社団法人日本実験動物協会)を受けた7名のセンター職員が行っている。また、実験者の要請があれば、センター職員が実技指導と実験補助を行っている。
---

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料

令和3年度第1回～第2回動物実験委員会議事録、令和3年度動物実験計画書の審査及び動物使用状況、令和3年度動物実験計画書一覧、動物実験等に関わる教育訓練開催状況、飼養保管施設設置承認一覧、実験室設置承認申請関係一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 令和3年度の動物実験計画書の承認は27件であった。委員による審査は概ね一週間で完了し、コメントを委員長が取りまとめて申請者へ通知し、内容が改善されたものについて学長へ報告して承認されている。計画書申請受理から学長承認まで平均一ヶ月であり、本委員会が適正に機能している結果と考える。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点はない。

## 2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 令和3年度動物実験計画書一覧、令和3年度動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 計画書の立案に当たっては、指針等に基づくものであることの教育を徹底し、必要に応じて専門的知識をもった動物研究センター職員が助言等を行っている。承認済みの動物実験については、常時、導入された実験動物の状態（使用状況も含む）を動物研究センター職員が把握しており、実験従事者に適宜助言、指導を行っている。結果報告については、終了したにもかかわらず終了報告を提出していない事例があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 結果報告書は従来の事務連絡による督促だけで提出されない場合、本年度においても委員長名での督促を行う。

## 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

（当該実験が安全に実施されているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
--

## 自己点検・評価報告書

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 岩手医科大学動物研究センター感染動物実験室利用内規、岩手医科大学動物研究センター感染実験室使用承認申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 遺伝子組換え動物の導入、利用に当たっては、動物研究センター職員が書類上の確認を行っている。また、「組換え動物等飼育中」の表示・ねずみ返しの設置等の必要な措置が講じられている。動物研究センター内の感染動物実験室（BSL2）は、感染動物実験室利用内規並びに利用マニュアルに基づき管理が徹底されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点はない。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 岩手医科大学動物研究センター動物飼育管理標準作業手順書 令和3年度動物実験計画書の審査及び動物使用状況
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 本学の飼養保管施設は、令和元年度に内丸地区の飼養保管施設が廃止された為、矢巾キャンパスの動物研究センターのみでの運用となった。法令・指針・ガイドラインに基づいて動物研究センター長、実験動物管理者（実験動物医学研究部門の教員（獣医師・副センター長）の指導の下、職員により運営管理されている。動物の飼育管理、共用部分の清掃等の維持管理はセンター職員が行っており、実験者からの信頼は厚い。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点は特にない。

### 5. 施設等の維持管理の状況

## 自己点検・評価報告書

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 保守点検の書類 (第一種圧力容器自主点検表: 第一種圧力容器検査証、冷凍機点検記録表)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 矢巾キャンパス動物研究センターは平成 23 年 5 月より運用を開始し、空調設備等の稼働状況は 24 時間監視されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点は特にない。

## 6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験等に関わる教育訓練実施記録、動物実験に関わる本学規程及び関連資料、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 本学では動物実験従事者に対して 3 年に一度の講習会受講義務を課しており、令和 3 年度動物実験講習会は 8 月 12 日~9 月 17 日に DVD 視聴の形で開催した。また、小規模の講習会は随時行っており、合計 94 名が受講した。なお、学部学生は本教育訓練の対象外であるが、各学部の動物実験実習前に実験動物医学研究部門の教員 (獣医師) が教育訓練に相当する内容の講義を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 現時点で改善すべき点は特にない。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果
---------

<p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和3年度動物実験結果(経過・最終)報告書</p> <p>岩手医科大学ホームページ、岩手医科大学動物研究センターホームページ</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験責任者が各自の研究における動物実験を評価することになっており、動物実験結果報告書の書式に自己点検・評価に関する項目がある。全学の各部署における学内評価、及び動物実験実施体制に関する情報公開も行われており、それらは大学のホームページで公開している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>現時点で改善すべき点は特にない。</p>

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

飼養中の実験動物について、実験の実施状況をセンター職員が把握し、必要に応じて実験実施者へ専門的助言を行っている。

平成21年度、国動協・公私動協による第三者検証を受検し、適正な管理が行われているという評価を受けた。